$c_{CO2,d}$　：希釈トンネル出口にある希釈された排出ガス内の湿りCO_2濃度［%］
$c_{CO2,a}$　：大気中の湿りCO_2濃度［%］
q_{mdew}　：分流希釈装置内の希釈サンプル流量［kg／s］
q_{mew}　：湿り状態での排出ガス質量流量［kg／s］
q_{mp}　：分流希釈装置内に入る排出ガスのサンプル流量［kg／s］
M_e　：排出ガスのモル質量［g／mol］

乾き状態でCO_2を計測する場合は、別紙7の3. 2. と別紙8の2. 2. に従い、湿り状態に変換するものとする。

5.　排出ガスのモル質量の計算

排出ガスのモル質量は、別紙8の2. 4. 2. に記載の式を用いて計算するものとする。又は、以下のように排出ガスモル質量を求めることもできる。

Me（ディーゼル）＝28.9g／mol

別紙5

設備及び付属装置の据付要件

番　号	試験機器及び付属装置	排出物試験時の設置
1	吸気装置	
	吸気マニホールド	有り
	ブローバイガス還元装置	有り
	空気流量計	有り
	空気清浄器	有り（注1）
	吸気消音器	有り（注1）
2	排気装置	
	排気後処理装置	有り
	排気マニホールド	有り
	接続管	有り（注2）
	排気消音器	有り（注2）
	テール管	有り（注2）
	排気ブレーキ	無し（注3）
	過給機	有り
3	燃料供給ポンプ	有り（注4）
4	燃料噴射装置	
	プレフィルタ	有り
	フィルタ	有り
	燃料噴射ポンプ	有り
5	高圧管	有り
	インジェクタ	有り
	電子制御装置（ECU）、センサ等	有り
	ガバナ、制御装置	有り
	大気条件に応じた制御ラックの自動フルロード制限装置	有り
6	液体冷却装置	
	放熱器	無し
	ファン	無し
	ファンカウル	無し
	循環ポンプ	有り（注5）
	サーモスタット	有り（注6）
7	空気冷却装置	
	カウル	無し（注7）
	ファン又はブロワ	無し（注7）
	温度調節装置	無し
8	過給装置	
	エンジン駆動式又は排気タービン式過給機	有り
	吸気冷却器	有り（注7、注8）
	冷却剤ポンプ又はファン（エンジン駆動）	無し（注7）
	冷却剤流量調節装置	有り
9	付属試験台ファン	必要に応じて有り（注9）
10	汚染防止機器	有り
11	始動設備	有り又は試験台設備
12	潤滑油ポンプ	有り
13	パワーステアリング等、試験エンジンの運転に必要がない付属装置で、エンジンへの取り付けができるものは、試験の際には取り外すものとする。	無し

（注1）　用途に応じて吸気装置一式を取り付けるものとする。
(i)　エンジン出力に大幅な影響を与えるおそれがある場合
(ii)　エンジン製造者が取り付けるように要求している場合
その他の場合は、同等の装置を用いることができるが、エンジン製造者が未使用のエア・フィルタに対して指定している上限圧力と吸気圧力との誤差が100Paを超えないことを確認すること。

（注2）　用途に応じて排気装置一式を取り付けるものとする。
(i)　エンジン出力に大幅な影響を与えるおそれがある場合
(ii)　エンジン製造者が取り付けるように要求している場合
その他の場合は、測定した圧力とエンジン製造者が指定している上限圧力との差が1,000Paを超えないことを条件として、同等の装置を設置することができる。

（注3）　排気ブレーキがエンジンに内蔵されている場合は、絞り弁を全開の位置に調節するものとする。

（注4）　必要に応じて、特定のエンジン用途の圧力を再現するために、燃料供給圧力を調整することができる（特に「燃料リターン」装置を使用する場合）。

（注5）　冷却液は、エンジン付属の循環ポンプのみで循環させるようにするものとする。なお、冷却液は、外部回路によって冷却することができるが、この回路の圧力損失とポンプ入口の圧力は、エンジン冷却装置と同程度に維持すること。

（注6）　サーモスタットは全開に調節することができる。